

平成 30 年度第 4 回 ほっとおおつち運営推進会議報告書

開催日時	平成 30 年 11 月 27 日 (火) 14 時～14 時 30 分
開催場所	ほっと おおつち
出席 者	民生委員児童委員会長、 民生委員児童委員 1 名、 地域代表 1 名
合計 10 名	ボランティア団体 1 名、 役場包括支援センター 1 名、社協事務局 4 名

1 あいさつ (民生・児童委員会長)

前回は収穫祭に楽しく参加させていただいた。今後も引く続き宜しくお願ひしたい。

2 協議

1) 利用状況について

別紙資料をもとに実績の説明報告。

利用登録者の変化は大きくないものの、利用者の入院により空きが出る状況もあった。サービス提供回数は延べ人数ではあるが増加の傾向にある。訪問内容及び活動内容は資料のとおりである。

季節に合わせた紅葉ドライブと文化祭作品展示見学では利用者が完成させた作品を見学することができた。

◎質疑

Q 月によって登録者が 0 になった介護度があるのはどうしてか？

利用者の介護度に変更があり、要介護 4 から要介護 5、要介護 3 から要支援 1 と上下の動きが出ていた。

(包括) 介護度の更新時、変更がなければ次回更新まで 2 年、変更があれば 6 か月から 1 年の期間となる。途中、入院等で状態が変われば区分変更もある。

2) 外部評価について

事業所内で自己評価を含めた結果を資料にまとめた。

内容と結果を参考に配布の外部評価用紙に記入いただき、次回会議開催時に用紙の提出と意見交換をしたい。

3 その他

1) 火災時の消防・避難について

◇11 月 5 日 (月) 事業所内で夜間を想定した避難訓練を実施。

・夜間職員 1 名 ・宿泊利用者 1 名～5 名

火災を想定したマニュアルは作成済みであるが職員 1 人での対応は困難である。緊急事態の発生時は周辺地域の協力をお願いしたい。緊急事態の発生時は建物 2 か所に回転灯が点灯し周辺に知らせるよう設置してある。

◎意見

- ・火災発生時は1分1秒を争うため近所の力は必要である。
- ・具体的に地域へのアクションを起こす手段を考える必要もある。

2) 防災訓練の実施

◇11月17日(土) 町の防災訓練委合させて社協内で実施。緊急連絡網による電話連絡、総務課からの緊急一斉メールで職員の安否確認を行っている。

※地域代表から 桁内地区の防災訓練では檜内地区137世帯であるが約25名の参加。参加者は年々減少し緊迫感が薄れています。町方地区避難所を含め全体に少ないようだ。

3) 地域の問題 (地域代表)

檜内町営住宅の住民が坂道に面した道路に朝夕水まきをしている。冬場に向け路面凍結の問題があり、通学路と当事業所を含めた車の往来もあることから注意をしていきたい。昨年も同様の行為があり自宅を訪問し水まきをしないよう協力を求めた。

3) 次回開催予定

平成31年1月 日時が決定次第追って連絡